

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年6月6日(2023.6.6)

【公開番号】特開2023-26689(P2023-26689A)

【公開日】令和5年2月24日(2023.2.24)

【年通号数】公開公報(特許)2023-036

【出願番号】特願2023-1421(P2023-1421)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 312Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月29日(2023.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技中に作動契機が発生すると、所定の開放時間にわたり入賞口に遊技球が入球不能な閉鎖状態から、前記入賞口に遊技球が入球可能な開放状態に変化する可動入球手段と、前記可動入球手段の入賞口に入球した遊技球を前記可動入球手段内に設けられた特定領域に誘導することが確定する確定領域と、前記可動入球手段内に複数配置される前記特定領域の内で遊技球が通過することにより所定の利益を遊技者に付与する第1特定領域と、その第1特定領域を遊技球が通過することにより遊技者に付与される利益に比較して遊技球が通過することにより遊技者に付与する利益が小さい第2特定領域と、を備える遊技機において、

所定期間内に前記確定領域を複数の遊技球が通過した場合に、前記第1特定領域を遊技球が通過することによる利益を、前記第2特定領域を遊技球が通過することによる利益に比較して得やすくする第1手段を備えることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機において、遊技領域に入賞口を備え、その入賞口に遊技球が入賞可能な遊技機がある(特許文献1)。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、入賞口へ流下してからの遊技球の流下について改良の余地があるという問題点があった。

【手続補正4】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、入賞口へ流下した遊技球が良好に流下する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技中に作動契機が発生すると、所定の開放時間にわたり入賞口に遊技球が入球不能な閉鎖状態から、前記入賞口に遊技球が入球可能な開放状態に変化する可動入球手段と、前記可動入球手段の入賞口に入球した遊技球を前記可動入球手段内に設けられた特定領域に誘導することが確定する確定領域と、前記可動入球手段内に複数配置される前記特定領域の内で遊技球が通過することにより所定の利益を遊技者に付与する第1特定領域と、その第1特定領域を遊技球が通過することにより遊技者に付与される利益に比較して遊技球が通過することにより遊技者に付与する利益が小さい第2特定領域と、を備える遊技機であって、所定期間内に前記確定領域を複数の遊技球が通過した場合に、前記第1特定領域を遊技球が通過することによる利益を、前記第2特定領域を遊技球が通過することによる利益に比較して得やすくする第1手段を備える。

20

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、入賞口へ入球した遊技球の流下を良好にすることができる。

40

50